

2014年度新入生アンケート調査結果報告書

法政大学への満足度は70.1% (前年比2.8ポイント減少)

入学学部への満足度は65.4% (前年比2.1ポイント減少)

「就職につよい」と感じる学生は依然として低い割合

大学在学中の目標では「将来の仕事に役立つ知識を身につける」がトップ。全体的な傾向は例年と変わらず。

「法政大学を勧めたい」と回答した学生は54.8% (前年比2.6ポイント減少)

実施時期：2014年6～7月 対象：2014年度新入生（学部） 有効回答数：5526件（回収率：81.2%）

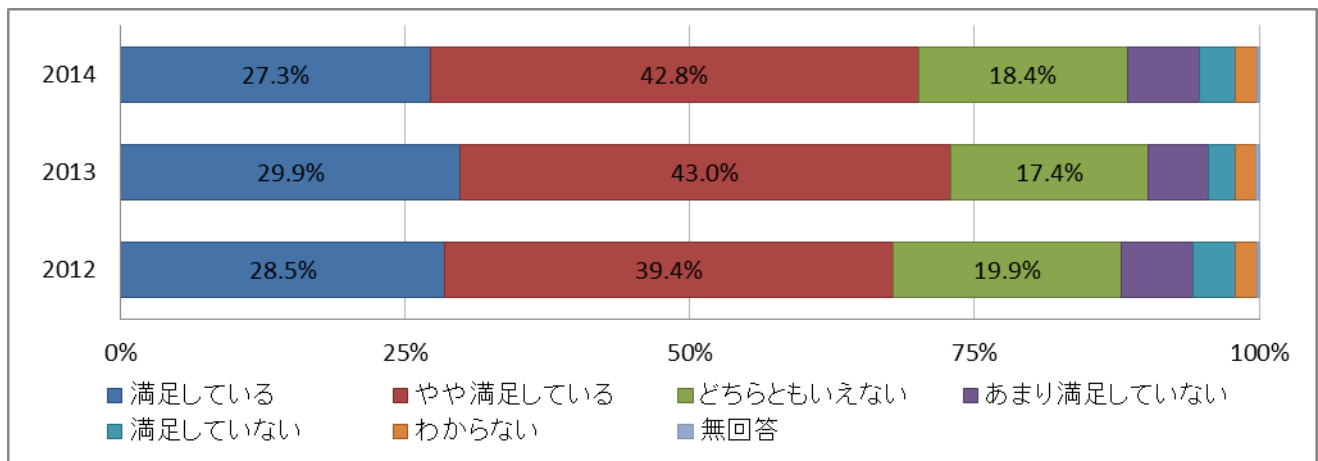
1 調査結果

1.1 法政大学および入学学部に対する満足度

図1.1.1および図1.1.2は、「現時点で、法政大学および入学学部に対してどの程度満足していますか」との質問に対する回答結果です。

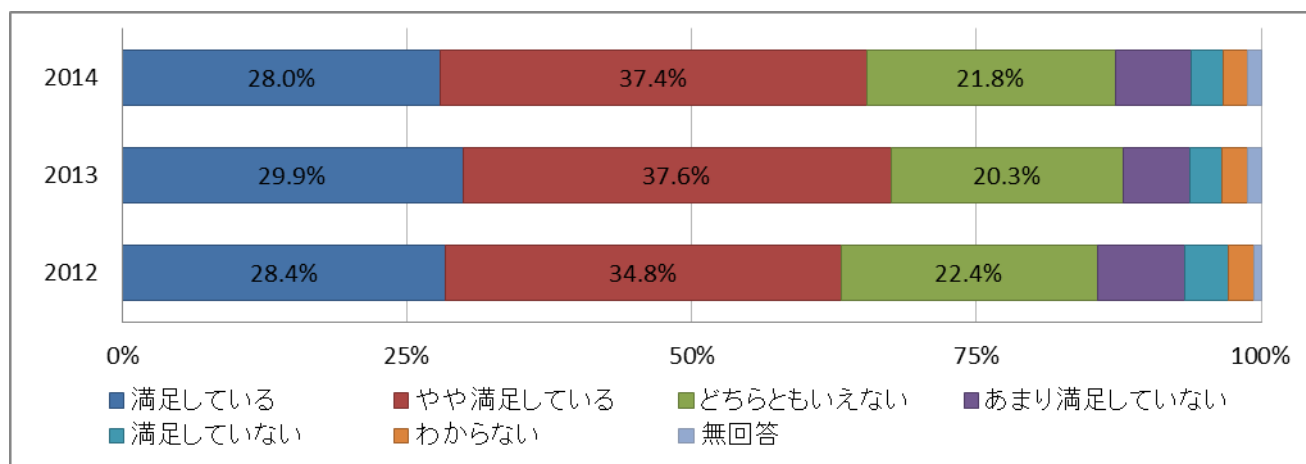
大学満足度は、2013年度と比べ、「満足している」(27.3%)が2.6ポイント減少、「やや満足している」(42.8%)が0.2ポイント減少しました。

図1.1.1 法政大学に対する満足度 全学



学部に対する満足度（「満足している」と「やや満足している」の合計、以下同様）は65.4%で、2013年度（67.5%）に比べ2.1ポイント減少しました。

図 1.1.2 入学学部に対する満足度 全学

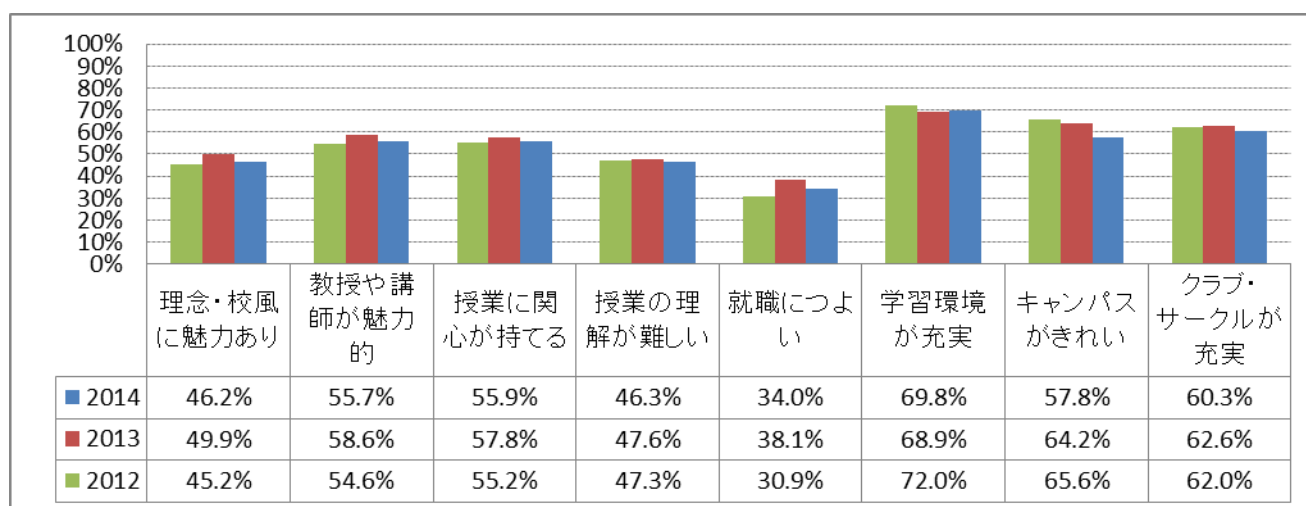


1.2 法政大学および入学学部について

図 1.2.1 は「現時点で、法政大学（および入学学部）についてどのように感じていますか」に対する回答（「そう思う」と「いくらかそう思う」の合計）です。①「理念や校風に魅力がある」、②「教授や講師に魅力的な人がいる」、③「授業に関心もてる」、④「授業の理解が難しい」、⑤「就職に強い」、⑥「図書館などの学習環境が充実している」、⑦「キャンパスがきれいである」、⑧「クラブやサークル活動が充実している」の8項目について質問しました。

多くの項目で前年度を下回っています。また、「就職につよい」と感じる学生はこれまで同様に4割を切っており、低い割合を示しています。

図 1.2.1 法政大学および入学学部についての感想 全学

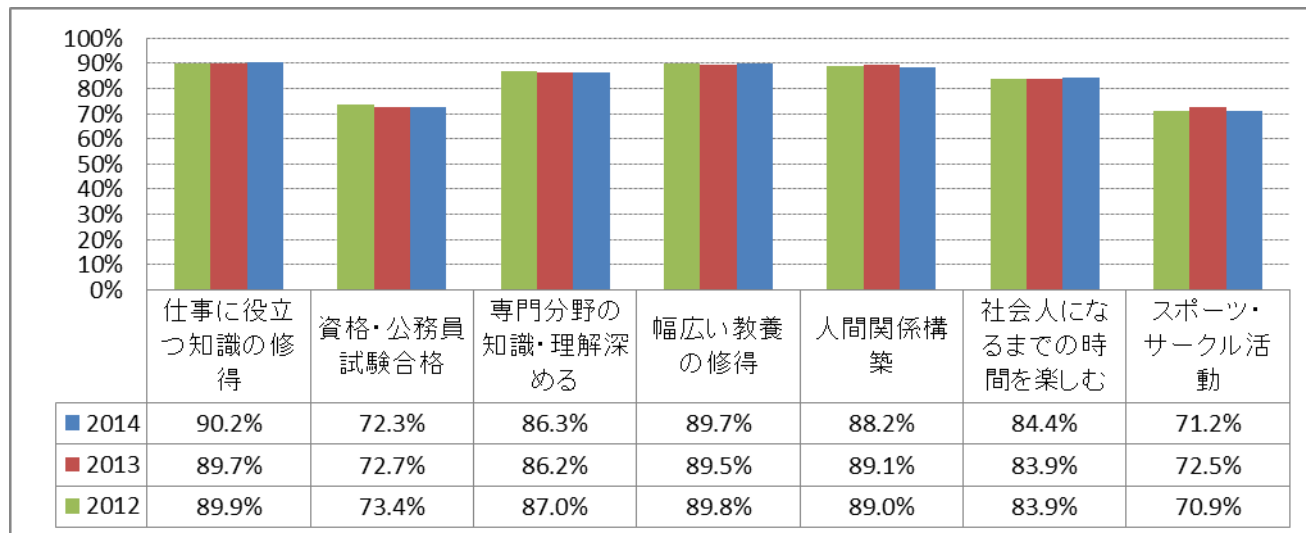


1.3 大学在学中の目標

図 1.3.1 は「大学在学中の目標として、どのようなことが重要ですか」との質問に対する回答（「重要である」+「いくらか重要である」）です。①将来の仕事に役立つ知識を身につける、②資格試験・公務員試験などに合格する、③専門分野の知識・理解を深める、④幅広い教養・ものの見方を身につける、⑤有意義な人間関係を築く、⑥社会人になるまでの時間を楽しむ、⑦スポーツ・サークル活動に力を入れる、の7項目について質問しました。

全体的な傾向は2012年度、2013年度と同様でした。項目別では、「将来の仕事に役立つ知識を身につける」(90.2%)が最も多く、「広い教養・ものの見方を身につける」(89.7%)、「有意義な人間関係を築く」(88.2%)の順となりました。

図 1.3.1 大学在学中の目標 全学

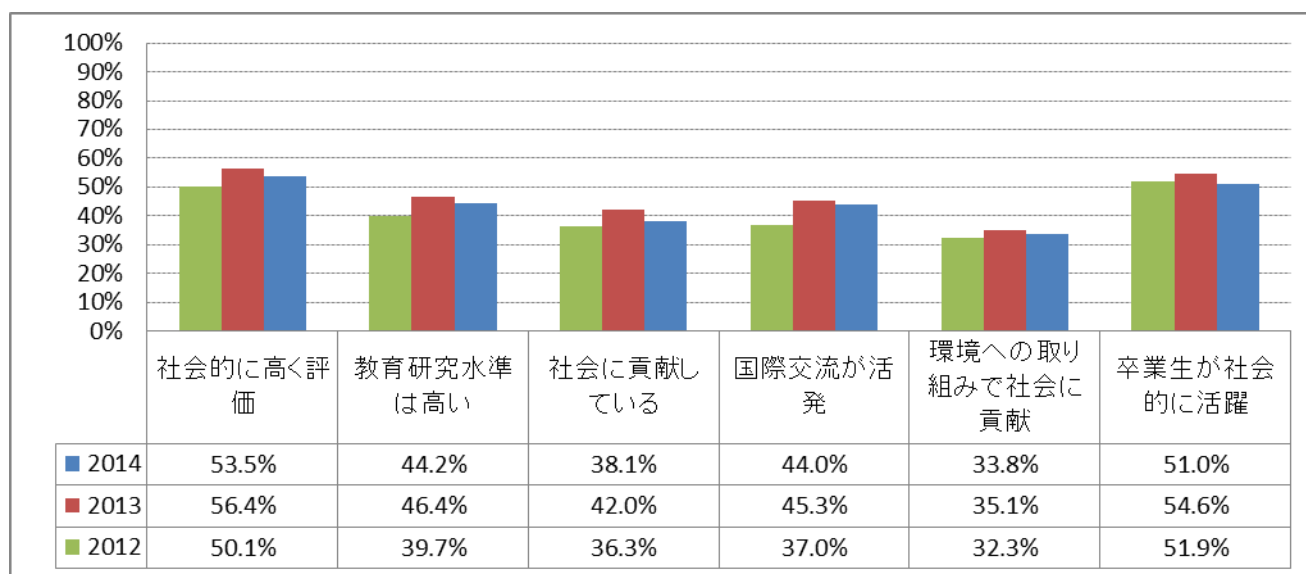


1.4 法政大学の評価（イメージ）

図 1.4.1 は、「法政大学は社会からどのように評価されていますか」の質問に対する回答（「そう思う」＋「いくらかそう思う」の割合）です。①社会的にも高く評価されている、②教育研究水準は相対的に高い、③教育研究を通して社会貢献に貢献している、④国際交流は活発である、⑤環境への取組を通して社会貢献に貢献している、⑥卒業生は社会的に活躍している、の6項目について質問しました。

肯定的回答は、「社会的にも高く評価されている」(53.5%)が最も高く、次いで「卒業生は社会的に活躍している」(51.0%)でした。また、わずかながらすべての項目で前年度を下回っています。

図 1.4.1 法政大学のイメージ 全学

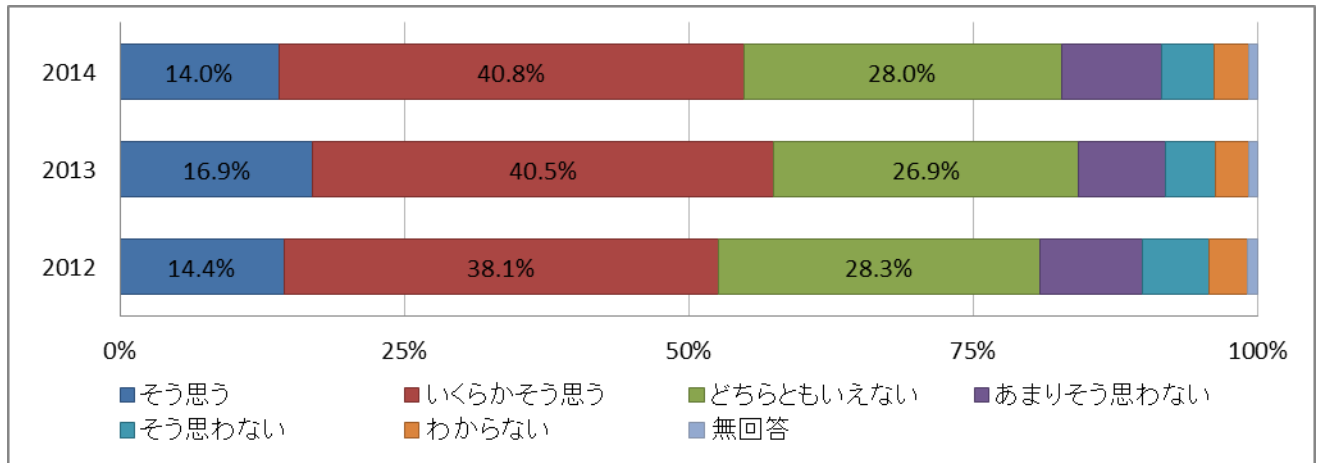


1.5 法政大学を勧めたいと思うか

図 1.5.1 は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」の質問に対する回答です。

肯定的回答は 54.8%であり、2013 年度（57.4%）に比べ 2.6%減少しました。

図 1.5.1 法政大学を勧めたいか 全学



以上